

宇宙開発の現状報告

(平成 18 年 11 月 28 日(火) ~ 平成 18 年 12 月 5 日(火))

平成 18 年 12 月 6 日
宇宙開発委員会事務局

宇宙開発委員会の動き

12 月 1 日(金)

- 第 6 回安全部会

【井口委員長、松尾委員、青江委員、野本委員】

12 月 4 日(月)

- 第 3 回計画部会宇宙科学ワーキンググループ

【松尾委員、青江委員、野本委員】

宇宙開発に関する国内の動向

11 月 30 日(木)

- 陸域観測技術衛星「だいち」の衛星画像データ活用推進のため、広島工業大学と宇宙航空研究開発機構が協力

【独立行政法人宇宙航空研究開発機構、広島工業大学】

広島工業大学と宇宙航空研究開発機構(JAXA)は、JAXA が 2006 年 1 月に打ち上げた陸域観測技術衛星「だいち」(ALOS)の衛星画像データの活用を密接に協力して推進していくことを

西日本地区でははじめて合意した。

広島工業大学は、文部科学省の学術フロンティア推進事業の研究拠点として指定されており、JAXA の「宇宙オープンラボ制度」を活用し、地域の産学官連携に基づく「地球観測衛星情報を活用したリアルタイム電子国土情報ビジネス」の実現に取り組んでいる。今後は JAXA との密接な協力のもとで「だいち」をはじめとする地球観測衛星の利用を推進する地域拠点として活動していくことを計画している。

12 月 1 日(金)

- 欧州宇宙機関衛星の観測データ中継実験に成功

【独立行政法人宇宙航空研究開発機構】

データ中継技術衛星「こだま」は、欧州宇宙機関(ESA)の地球観測衛星「Envisat」が観測したデータの中継実験に成功した。実験は 2006 年 4 月と 9 月、それぞれの衛星の定常運用の合間を縫って行われ、4 月の実験では高度約 800 km(Envisat)と 3 万 6000 km(こだま)の 2 つの衛星のアンテナが正確に向き合うことを確認。9 月には観測データを「こだま」経由で筑波宇宙センターにて受信し、イタリアにある ESA の欧州宇宙研究所まで伝送、品質に問題のないことが確認された。

宇宙開発に関する海外の動向

11月29日(水)

- 韓国とウクライナ、宇宙協力協定の年内締結で合意
【韓、ウクライナ】
11月27日(月)、韓国産業資源部(MOCIE)とウクライナ交通通信省(MTU)は「第3回韓国・ウクライナ貿易・経済共同委員会」をソウルで開催し、その中で、宇宙の平和利用に関する協力協定の年内の締結に合意した。(主な内容:衛星システム、打上げロケットなどの分野での共同プロジェクト計画の策定、実施)

11月30日(木)

- 中国、空中発射式小型ロケットの研究・開発を推進 【中】
11月29日(水)、中国ロケット技術研究院(CALT)は、「北京航空宇宙学会2006年航空宇宙科学技術フォーラム」で、空中発射式小型ロケットの研究・開発を推進中とした。液体燃料(ケロシン)を用いる3段型とされ、中国空軍の爆撃機から空中発射される。将来の小型衛星打上げ市場の需要に応えるため、2006年から2010年の第11次五ヵ年計画中に同システムの技術開発の完了を目標としている。
- スペースシャトル「ディスカバリー号」(STS-116)、12月8日(金)打上げへ 【米】
11月30日(木)(日本時間、以下同じ)、米国航空宇宙局(NASA)は、スペースシャトル「ディスカバリー号」(STS-116/国際宇宙ステーション組立ミッション(12A.1))の打上げ日を12月8日(金)として正式に承認した。打上げ予定時刻は12月8日(金)

21時35分。ミッション期間は約12日間。なお、打上げ可能期間は12月18日(月)までとなっている。

- ロシアと韓国、韓国人初の宇宙飛行士搭乗の契約を12月に締結予定 【露、韓】
11月29日(水)付の報道によると、ロシアは韓国人初の宇宙飛行士を2008年にロシア製ロケットで打ち上げるための契約を12月7日(木)に韓国と締結する。2007年春に、最終候補者2名がモスクワ近郊のガガーリン宇宙飛行士訓練センターで訓練を開始する予定。